

第3・4学年 国語科学習指導案

日時 平成29年9月27日(水) 5校時
児童 第3学年 男1名 女1名 計2名
第4学年 男3名 女1名 計4名
指導者 日脇 和江

〈第3学年〉

- 1 単元名 書き手のくふうを考えよう
- 2 学習材名 『ほけんだより』を読みくらべよう
(東京書籍上)

3 単元について

(1) 児童について

児童は、「自然のかくし絵」で昆虫がどのようにして敵から身を隠しているのかを紹介カードに書く言語活動を通して、大事な言葉や文に着目して段落ごとに書かれている内容を捉えながら読む学習をした。また、読み取った内容について、児童の昆虫についての知識や情報、体験などと関連付けて感想をもち、伝え合う際には、どの段落に書かれている内容から感想をもったのかを明確にさせて伝える学習をしてきた。児童は、中心となる言葉や文を捉える力は身に付いてきている。しかし、感想を書きまとめる際に、自分の感想の根拠となった段落や文章を明確にすることができない児童がいる。

話し合う活動では、ペア学習での話し合いを行ってきた。自分の考えを話したり相手の話を聞いて共感したりすることが少しずつできるようになってきた。しかし、感じ方の違いに気付くことができる力は十分であるとはいえない。

読書については、朝読書や授業内容に合わせた並行読書、家庭読書に取り組んでいるが、自分の嗜好に合わせた読み物が多く、いろいろな読み物を読もうとする意識は十分とはいえない。新しいジャンルの読み物を紹介しながら読む楽しさや知る楽しさを増やしていきたい。

(2) 学習材について

「ほけんだより」は、本校でも配布されているお便りの一つであり、児童が目にする機会も多い身近な素材といえる。この学習材は、「朝ごはんをしっかりと食べようという気持ちをもたせる」という目的の二つの文章が取り上げられている。一つ目の文章は朝ごはんの役割や効能(朝ごはんを食べることによるメリット)を科学的に説明する文章、二つ目の文章は朝ごはんとは体調不良の関係をデータ(朝ごはんを食べないことのデメリット)を用いて説明する文章である。この二つの文章について、共通点や相違点を探しながら読み比べることで、書き手の意図に応じた表現の工夫を読み取る力を身に付けることができる。

また、どちらの文章がより朝ごはんを食べようという気持ちになるかを考え、読み取ったことを根拠として理由を文章に書き表し、友達と交流することによって一人一人の感じ方の違いに気付かせることができる。

(3) 指導にあたって

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「C読むこと」の指導事項「イ目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」である。

単元を通じた言語活動として「二つの『ほけんだより』を読み比べて、どちらの文章がよいと思うか理由を明確にして、保健の先生に『わたしのおすすめ』について手

〈第4学年〉

- 1 単元名 身の回りの文章を読みくらべよう
- 2 学習材名 「広告と説明書を読みくらべよう」
(東京書籍上)

3 単元について

(1) 児童について

児童は、「ヤドカリとイソギンチャク」で、ヤドカリとイソギンチャクの共生について『特大生き物助け合いブック』にまとめる言語活動を通して、段落相互の関係を考えながら内容を正しく読み取ること、また、感想を伝え合う際には、読んで感じたこと、筆者の説明のまとまりについて考えたこと等を伝えることを学習してきた。ヤドカリとイソギンチャクの関係や段落ごとに書かれている内容を正しく読み取ったり、個々の段落を絵と文で再構成して話す活動を通して内容を捉えたりする力が身に付いてきている。しかし、段落のつながりを理解するのが難しい児童もいる。

話し合う活動では、ペアまたはグループ学習での話し合いを行ってきた。根拠をもって自分の考えを話したり相手の話を聞いて共感したりすることが少しずつできるようになってきた。しかし、自分の考えと比較し、友達の考え方や感じ方の違いに気付くことができる力はまだ十分であるとはいえない。

読書については、朝読書や授業内容に合わせた並行読書、家庭読書に取り組んでいるが、いろいろなジャンルの読み物を進んで読もうとする意識は十分とはいえない。3年生同様新しいジャンルの読み物を紹介しながら読む楽しさや知る楽しさを増やしていきたい。

(2) 学習材について

日常生活において、児童の周りにはポスターやパンフレット、本のラベルやチラシ等、多様なものがあり目にすることも多い。この学習材は、広告のチラシと取り扱い説明書という実生活に即した2種類の文章が取り上げられている。二つの文章は、同じ商品についての説明的な文章でありながら、書かれている事柄や説明の仕方、写真、色、レイアウト等大きく異なっている。似ているようで似ていない2種類の文章の書き方や内容を比較・考察することによって、児童は相手と目的の違いによる説明文の書き方の違いを捉えることができ、効果的な述べ方の工夫を読み取る力を身に付けることができる。

また、調べて考えたことをまとめ、互いに読み合い感想を伝え合うことによって、児童が目的に合わせた表現の違いを実感したり友達の文章のよさから考えの違いに気付いたりすることができる。

(3) 指導にあたって

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「C読むこと」の指導事項「イ目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」である。

単元を通じた言語活動として「身近にある実用的な文章から、目的に合わせた表現の違いや工夫を調べ、考えをまとめる」ことを位置付ける。考えをまとめるために

紙を書く」ことを位置付ける。「ほけんだより」を読んでどちらの文章がよいと思うか、その理由を明確にして書くためには、それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取る必要がある。この2つに着目して書きまとめることは、「書き手の意図に応じた表現の工夫を読み取る力を身に付ける」という本単元でねらう指導事項を実現するにふさわしいと考える。

第一次では、歯みがきの大切さを伝える「ほけんだより」のどちらを配布するかで悩んでいる養護教諭に、どちらの文章がおすすめなのか、理由を手紙に書いて伝えるという学習課題を確かめる。本単元で身に付ける力とそのための学習内容を明らかにし、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるように意欲付けを図る。

第二次では、教材文で、朝ごはんの大切さについて書かれた二つの「ほけんだより」を読み比べ、事柄の取り上げ方と説明の仕方の違いから、書き手の表現の意図を読み取らせる。まず、二つの文章の同じところ（「はじめ」と「おわり」）を見付けさせることで書き手の伝えたいことを読み取らせる。次に、二つの文章の違うところ（「中」）について、大事な言葉や文を見付けながら書かれている内容を短くまとめることで、その違いに気付かせる。また、書き手がどんな願いでそれぞれの文章を書いているのかを考えさせ、どちらの文章がより「朝ごはんをしっかりと食べよう」という気持ちになったか、その理由を明確にして書かせ、ペアで話し合う。自分の理由と友達の理由を比べながら聞き、一人一人考え方や感じ方が違うことに気付かせたい。

第三次では、養護教諭が悩んでいる2つの文章について、事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いから書き手の意図を読み取り、どちらの文章が「しっかりと歯をみがこう」という気持ちになったのか、その理由を明確にして手紙を書き、発行する時の参考にしてもらうことにする。

4 単元の目標

(1) 目標

- 書き手の意図に応じた表現の工夫を見付けるために、二つの文章を読み比べようとしている。
【関心・意欲・態度】
- ◎二つの文章を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取ることができる。
【読むことC(1)イ】
- 二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方に違いがあることに気付くことができる。
【読むことC(1)オ】
- それぞれの文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて、文の構成について理解することができる。
【伝国(1)イ(キ)】

は、文章から必要な情報を取り出し、目的と表現の関係を考える力が必要となる。教材文にある広告と取り扱い説明書の表現の違いや工夫を学習することで、情報を関連付けて読み、目的に合わせた表現の仕方や工夫を読み取れるようにする。読み比べる観点を知り、それを生かして身の回りにある実用的な文章（ポスター・説明書・ラベルなど）も調べ、調べたことをまとめる学習は、本単元でねらう指導事項を実現するにふさわしいと考える。

第一次では、身近にある広告や説明書を見て気付いたことを話し合う。教師が作成したモデルの広告と説明書を示し、本単元で身に付ける力とそのための学習内容を明らかにし、児童が見通しをもって学習に取り組むように意欲付けを図る。そして、教材文と同様の広告や説明書を準備し活用させることで主体的に学習に取り組む態度を育てたい。

第二次では、教科書のてびきに示された5つの観点（①書かれている事柄②言葉の使い方や説明の仕方③写真や絵の使い方④色の使い方⑤書かれている事柄の順序やレイアウト）に沿って2種類の文章を読み比べ、それぞれの文章の目的に応じた表し方の工夫を読み取らせる。また、広告と説明書の違いについて例文を提示し、目的と表し方の関係を考えながら文章にまとめる。

第三次では、教師が選んだ身の回りにあるいくつかの実用的な文章から一つ選び、目的に合わせた表現の工夫を読み取らせる。その目的や表現の工夫について文章にまとめさせ、意見を話し合わせる。それによって、自分の考えを表現させ、友達との考えの違いに気付かせたい。

4 単元の目標

(1) 目標

- 身の回りの文章に関心をもち、目的に応じた表し方の工夫を見付けるために、2種類の文章を読み比べようとしている。
【関心・意欲・態度】
- ◎2種類の文章を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表し方の違いや述べ方の工夫を読み取ることができる。
【読むことC(1)イ】
- 調べて考えたことを互いに読み合い、一人一人の感じ方考え方の違いに気付くことができる。
【読むことC(1)オ】
- それぞれの文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解することができる。
【伝国(1)イ(キ)】

5 単元の評価規準

	3 年	4 年
国語への関心・意欲・態度	○事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見付けながら、二つの「ほけんだより」の文章を読み比べようとしている。	○目的に合わせた表し方の違いに興味をもち、広告と説明書を読み比べようとしている。
読む力	◎二つの「ほけんだより」の文章を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取っている。(イ) ○友達が選んだ理由や書いた手紙を発表し合い、互いの感じ方や考え方について違いのあることに気付いている。(オ)	◎表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取っている。(イ) ○広告と説明書や身の回りの文章について調べて考えたことを互いに読み合い、互いの感じ方の違いに気付いている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	○文の中での語句の役割や語句相互の関係に注意して、文の構成を理解している。イ(キ)	○文の中での語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解している。イ(キ)

6 単元の指導計画

3 学年 (全 8 時間)		時	次	時	4 学年 (全 8 時間)		
評価規準(評価方法)	主な学習活動				主な学習活動	評価規準(評価方法)	
	<p>本単元の学習について、題名や絵、写真から予想したり、同系統の学習やつながりを考えたりして、児童が主体的に本単元の学習活動に取り組むことができるようにする。【視点1】</p>						
<p>【関】学習のめあてが分かり、複数の保健だよりの内容を読んだり書き方の違うところを探したりしようとしている。(発言、行動観察、ノート)</p>	<p>○歯みがきについての複数の「ほけんだより」を読む。 ○保健の先生の悩みを知り、「わたしのおすすめ」として、自分の考えを手紙に書くことを確認する。 ○「わたしのおすすめ」の手紙を書くために、二つの「ほけんだより」を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いを見付けることを学習課題にする。 ○教材文を読む。</p>	1	第一次	第一次	1	<p>○身の回りにある広告や説明書の文章を提示し、気付いたことを話し合う。 ○教師がまとめた文章を提示しイメージをもつ。 ○自分が選んだ日用品について、表し方の工夫をまとめることを確認する。 ○自分が選んだ日用品についてまとめるために、広告と説明書の違いについて考えることを学習課題にする。 ○教材文を読む。</p>	<p>【関】身近にある広告や説明書の文章に関心を持ち、表し方の工夫を見つけるために文章を読み比べようとしている。(発言、行動観察、ノート)</p>
<p>【読】二つの文章に共通しているところを見つけ、書き手が伝えたいことを捉えている。(発言、ノート) 【言】語句の役割や語句相互の関係に注意して、文の構成を理解している。(発言・ノート)</p>	<p>○教材文を読み、段落構成を確かめる。 ○二つの「ほけんだより」の文章を読み比べるための観点を理解する。 ○二つの文章の共通点から書き手が伝えたいことを読み取る。</p>	2	第二次	第二次	2	<p>○広告と説明書の役割と、そのための表し方の工夫について読み取る。 ○広告と説明書がそれぞれどのようなものかを理解する。</p>	<p>【読】広告と説明書の役割と特徴について整理し、読み取っている。(発言、ノート) 【言】語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて、文の組立てについて理解している。(発言・ノート)</p>
<p>【読】二つの文章の共通点や相違点を捉えるために、大事な言葉や文に気を付けて、内容を読み取っている。(発言、ノート)</p>	<p>○二つの「ほけんだより」の文章の「中」の段落を読み、書かれている事柄や説明の仕方の違いを読み取る。</p>	3	第二次	第二次	3	<p>○広告と説明書を観点に沿って読み比べ、それぞれの表し方を読み取る。 ①書かれている事柄 ②言葉の使い方や説明の仕方 ③写真や絵の使い方</p>	<p>【読】広告と説明書を観点に沿って比較し、その違いを文章の目的と関連付けて理解している。(発言、ノート)</p>
<p>【読】それぞれに書かれている事柄や説明の仕方から書き手の表現の意図を捉え、選んだ理由を書きまとめている。(ノート、発言)</p>	<p>○図表と文章とを関係付け、図表の効果を考える。 ○二つの「ほけんだより」の文章の書かれている事柄や説明の仕方の違いから、それぞれの表現の工夫のよさを考える。 ○どちらの文章を「ほけんだより」に選ぶかを決め、その理由を明確にして書きまとめる</p>	4	第二次	第二次	4	<p>○広告と説明書を観点に沿って読み比べ、違いを読み取る。 ④色の使い方 ⑤書かれている事柄の順序やレイアウト ○なぜこのような違いがあるのかを考え、違いをまとめる。</p>	<p>【読】広告と説明書の色の使い方、書かれている順序やレイアウトを比較し、その違いを文章の目的と関連付けて理解している。(ノート、発言)</p>
<p>【読】二つの文章を読み比べて、考えたことを発表し合い、互いの感じ方に違いがあることに気付いている。(行動観察、発言、ノート)</p>	<p>○「わたしのおすすめ」を手紙に書く。 ○友達の手紙を読んで、気付いたことを発表する。</p>	5	第二次	第二次	5	<p>○広告と説明書の違いをそれぞれの読み手や目的と結び付けて文章にまとめる。 ○書いた文章を読み合い、気付いたことを発表する。</p>	<p>【読】広告と説明書の目的による表し方の違いを考えながら読んでいく。(ノート)</p>
<p>【読】二つの文章で伝えようとしていること、事柄や説明の仕方の違いを読み取り、書き手の表現の工夫を考えている。(ノート、発言) 【読】友達のおすすめの手紙を読み、互いの感じ方の違いに気付いている。(わたしのおすすめの手紙)</p>	<p>○保健の先生が「ほけんだより」で伝えたいことと、取り上げる事柄や説明の仕方の違いを読み取り、書き手の表現の工夫を考える。 ○保健の先生に「わたしのおすすめ」の手紙を書き、友達と読み合う。 ○まとめたものを他学年と読み合い、感想を交流する。 ○これまでの学習を振り返る。</p>	6・7	第三次	第三次	6・7	<p>○身の回りにある日用品の広告や説明書の中から、考える文章を選ぶ。 ○観点に沿って、表現の仕方や工夫を考える。 ○文章の目的や相手、書き手の意図を確かめ、文章の表し方と関係付けながらまとめる。 ○書いた文章を読み合い、話し合う。</p>	<p>【読】広告や説明書の目的と表し方の関係を考えながら、身の回りにある日用品の広告や説明書の違いを文章にまとめている。(ノート、発言) 【読】まとめた文章に対する自分の意見を伝えたり、友達の記事のよさから考えの違いに気付いたりしている。(発言、ノート)</p>
	<p>本単元の学習の振り返りを行い、自分自身や友達、他学年の学習について、両学年で伝え合う。【視点1】</p>						

7 本時の指導

(1) 目標

二つの文章に書かれている事柄や説明の仕方を捉え、選んだ理由を明確にして書きまとめることができる。

(2) 展開

(1) 目標

広告と説明書を読み比べ、色の使い方、書かれている事柄の順序やレイアウトの違いを読み取り、その違いを自分の言葉で書きまとめることができる。

	3年生		4年生				
	指導上の留意点 ○支援 ◎評価	学 習 活 動	直 間	直 間		学 習 活 動	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
導入 5分	<p>○前時までの学習を振り返らせた後、本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>○伝えたいことを伝えるにはどちらがよいか、考えることを補って確認する。</p>	<p>1 前時までの学習を想起する。 【視点1】</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どちらを「ほけんだより」にするか話し合い、選んだ理由を書きまとめよう。</p> </div> <p>3 教材文を読む。</p>			<p>1 教材文を読む。</p> <p>2 前時までの学習を想起する。 【視点1】</p> <p>3 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>広告と説明書を読み比べ、表し方のちがいの理由を考えて書きまとめよう。</p> </div> <p>4 学習の進め方の確認をする。</p>	<p>○前時までの学習を振り返らせた後、本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>○グループ学習ができるように、学習の進め方を確認し、間接指導に入る。</p>	導入 5分
展開 35分	<p>○図表の効果を図表が文章のどの部分の説明になっているかを確認しながら考えさせる。</p> <p>○一人学びで主体的に学習を進めるためにキーワードや文の構成等をまとめた用紙を使い、今まで読み比べたことを確かめ、書き方のモデルを提示する。</p> <p>○どちらを選択するか迷っている児童には、自分だったらどちらが朝ごはんをしっかりと食べようという気持ちになるかを考えさせ、友達との対話を通して選択させる。</p> <p>○教師の考えも合わせて聞き合うことで、それぞれの文章にどのようなよさがあるのか書き手の表現の意図を確かめる。</p>	<p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1)説明の仕方を読み取る。 ・図表を比較し、それぞれの分かりやすい点を考える。</p> <p>(2)書き手の意図を話し合う。 【視点2】 ・図表がないときの、それぞれの文章の伝わり方を考える。 ・図表のよさをまとめる。 ・書き手の意図を考える。 ・今まで読み比べたことを確かめる。</p> <p>(3)伝えたいことを伝えるには、どちらの「ほけんだより」がよいか自分の考えと理由をノートに書く。 ※観点 ・どちらがより「朝ごはんをしっかりと食べてほしい」という気持ちになるか。 ・どこがよいと思うか。 ・どんな感じがするからか。等</p> <p>・選んだ理由を短冊用紙に書いて黒板に貼る。</p> <p>(4)全体で交流する。 ・自分の考えと理由を担当も含め3人で交流し、感じ方の違いに気付く。</p> <p>(5)交流した内容を受けて、再度自分の考えを見直し、ノートにまとめる。</p>			<p>5 学習課題を解決する。 【視点2】</p> <p>(1)広告と説明書の色の使い方、順序、レイアウトを比べ、その違いをまとめる。 ・個人でまとめる。 ・全員で考えを出し合い、違いを話し合ったことをまとめる。 ※観点 ・色：どんな違いがあるか どんな印象を受けるか。 ・順序：書かれている事柄の順番はどうか。 ・レイアウト：どの事柄が目立つか</p> <p>(2)二つの文章の表し方の違いを、目的や相手、書き手の意図と関連付けて話し合う。 【視点2】 ・なぜこのような違いがあるのかを考える。 ・それぞれの観点に沿って、違いの理由をまとめる。</p> <p>(3)話し合った内容をうけて、広告と説明書の違いについてノートにまとめる。 ・自分が発表した内容だけでなく、友達の発表を聞いて必要な内容もノートにまとめる。</p>	<p>○観点に沿って違いを捉え、前時までにまとめた資料に付箋を貼らせる。</p> <p>○発表のし合いにならないように、違いに気を付けて聞かせ、質問しながら話し合いを進めさせる。</p> <p>○読み手にとって何が大切な情報かを考えさせる。</p> <p>○書き手の意図を考えながら、色の使い方、書かれている事柄の順序やレイアウトの違いやその効果をまとめるよう助言する。</p>	展開 35分

	◎【読】それぞれに書かれている事柄や説明の仕方から書き手の表現の意図を捉え、選んだ理由を書きまとめている。(ノート、発言)	一つ目の文章 ・朝ごはんを食べるとどんないいことがあるか書いていて、わたしも朝ごはんを食べようになりたいと思ったから。 ・絵にやじるしがあって、言いたいことが分かりやすいから。 二つ目の文章 ・朝ごはんを食べるために、早くねると書いていて、わたしもやってみようと思ったから。 ・じっさいに調べた数字がわかって、きちんと朝ごはんを食べようと思ったし、みんなにも教えたいから。		◎【読】広告と説明書の色の使い方、書かれている順序やレイアウトを比較し、その違いを文章の目的と関連付けて理解している。(ノート、発言)	
終末5分	○学習を通して分かったこととこれからどんな学習をしたいかをさせる。	5 本時の振り返りをする。 【視点1・2】 6 次時の学習内容を確認する。		○学習を通して分かったこととこれからどんな学習をしたいかをさせる。	終末5分
			6 本時の振り返りをする。 【視点1・2】 7 次時の学習内容を確認する。		

(3) 評価

B 二つの「ほけんだより」の文章に書かれている事柄や説明の仕方から書き手の意図を捉え、どちらの「ほけんだより」がよいと思うか自分の考えと選んだ理由を一つ書いている。

B 広告と説明書の色の使い方、書かれている事柄の順序やレイアウトの違いがわかり、それぞれ違いの理由を読み手や書き手の思い、目的と関係付けて、書きまとめている。

- 支援①どちらがより「朝ごはんをしっかりと食べよう」という気持ちになるかを考えさせる。
②前時までのノートを読み返したり、板書に書かれた言葉や文を使ってまとめさせる。

- 支援①広告と説明書の目的や伝える相手を再度振り返り、読み手にとって何が大切な情報かを考えさせる。
②板書に書かれた言葉や文を使ってまとめさせる。

8 板書計画

二つ目の文章

一つ目の文章

【えらんだ理由】

- ・食べないとどんなよくないことが書いていて、気をつけようと思う。
- ・じっさいの数字が出ていておどろいた。
- ・食べるとどんなよいことがあるか書いていて、がんばろうと思う。
- ・役に立つことが書いていて、図を見ると役立つことがよくわかる。

「ほけんだより」を読みくらべよう

◎ どちらを「ほけんだより」にするか話し合い、えらんだ理由を書きまとめよう。

写真
↓
色

言葉
↓
色

広告
↓
色

説明書
↓
色

【ちがいの理由】

色の使い方

黒と青の2色
↓
目立つ感じ
分かりやすい

たくさんの色
↓
さわやかな感じ
明るい気持ちになる

書かれている順序やレイアウト

1 使用上の注意 2 各部の名前 3 使用方法
↓
買った人が使えるように安全に使ってほしい

1 キャッチコピー 2 写真 3 商品の特長
↓
多くの人に見てほしい 買ってほしい

◎ 広告と説明書を読みくらべよう

◎ 広告と説明書を読み比べ、表し方のちがいの理由を考えて書きまとめよう。